

フードバレーとかち推進協議会のロゴの選考について

募集の状況 募集期間 8月15日（月）～9月12日（月）
応募件数 合計64名、79件
応募状況

○都道府県別

北海道（十勝外）、北海道（十勝） 各11名
東京都 8名
広島県 5名
神奈川県、滋賀県 各3名
新潟県、埼玉県、岐阜県、京都府、大阪府 各2名
宮城県、茨城県、静岡県、長野県、愛知県、富山県、石川県、
兵庫県 福岡県、大分県、宮崎県、熊本県、沖縄県、各1名

○年代別

・10代 1名 ・20代 19名 ・30代 15名
・40代 8名 ・50代 9名 ・60代以上 11名
・未記入1名

最優秀作品 松本 ゆかり 20歳代 女性 大分県別府市在住

“おいしい十勝を食べる” をコンセプトに「フードバレーとかち」をデザインしました。豊かに広がる実りの大地をイメージした、黄色の“皿”の上にいる北海道。北海道十勝地方の位置を“スプーン”ですくうことで、「おいしい十勝の“食”を食べる」ことをカタチにしました。

優秀作品 木村 知子 20歳代 女性 北海道旭川市在住

十勝19市町村を表す「19個の丸」で「FOOD」を囲むことによって十勝地方が一体になって食糧が生産されている様子を表現しました。「19個の丸」でひとつひとつの市町村の技術が結束して、とても大きな生産力になることそして、「FOOD」及び「FOOD VALLEY」の文字を二色で構成し十勝19市町村だからこそできる、生産物の多様さも表現しております。また、円形でまとめて安全と安心感が伝わるように考慮しました。

優秀作品

古川 康幸 40歳代 男性 福岡県福岡市在住

十勝の『十』の文字をビジュアル化しました。箸、スプーン、フォーク、ナイフ。食をイメージさせるアイテムで構成しています。

また黄・赤・緑・青は食材の豊かさを表しています。『十』をビジュアル化することで、人と食材がクロスする場所であることを表現しました。

ロゴの利用

ロゴマークの使用に関する考え方

「フードバレーとかち」の趣旨に賛同し、応援するための活動などに使用し、十勝で行われるイベント等様々な場面で活用していく。但し、商品には使用しない。

今後の使用例

- ・バックパネル
- ・名刺
- ・のぼり（企業・団体・自治体等のイベントでの使用）